

2002年度 事業計画

・協会事業

1) 2002年度低温工学協会褒賞：

- ・論文賞（低温工学 第 35,36 巻）

受賞者：原 雅則，末廣 純也，櫛永 稔，松本 泰典，
船木 和夫，岩熊 成卓，坊野 敬昭，堤 克哉

対象論文：「高温超伝導コイルにおける交流電圧印加時の熱気泡挙動と電気絶縁環境」低温工学 第 36 巻 7 号 406～418 頁

- ・奨励賞 受賞者：荒木 猛司

- ・業績賞 受賞者：該当者なし

- ・優良発表賞 受賞者：

小田部 莊司 「冷凍機冷却を用いた計測用 1000 A 級小型酸化物超伝導トランスの動作試験」

木須 隆暢 「熱擾乱下における高温超伝導体の通電特性」

木吉 司 「1 GHz 級 NMR マグネットの開発（ ） 900 MHz における磁場安定度・均一度」

久保田 宏 「YBCO 薄膜の I_c ばらつきと限流素子直列化」

佐保 典英 「高温超伝導バルク磁石を応用した水浄化用磁気分離装置の開発」

成木 紳也 「RE123 系バルク超伝導材料と水との反応性」

楨田 康博 「ATLAS 超伝導ソレノイド電磁石性能試験 -超伝導特性」

真部 高明 「含フッ素中性溶液を用いた塗布熱分解法による Y123 膜の作製」

宮下 克己 「ISTEC・SMES 用強制冷却 Al 安定化 Nb-Ti 超伝導導体の開発」

村上 正秀 「超伝導熱線流速計を用いた H_2 蒸発現象に関する実験的研究」

2) 冷凍部会：

- ・例会を 9 回（国際会議報告会，見学会 1～2 回及び公開例会 1～2 回を含む），特別例会を 1 回開催する。
- ・第 5 回低温技術講習夏合宿を開催する。
- ・年間講演集を 1 冊発行する。
- ・極低温関連産業支援のための広報事業を行う。

3) 安全性検討委員会：

- ・高圧ガス保安法，関連法基準の現状調査をする。
- ・ヘリウム設備の冷凍安全基準案及び超伝導設備の磁気安全基準案を検討する。
- ・検討委員会を年 2 回開催する。

4) 受託事業：

・「超伝導工学データベースのデータ入力及び調査」（物質・材料研究機構からの受託）を実施する。

5) 名簿発行事業：

- ・2002 年度版会員名簿を発行する。

・学会事業

1) 学会誌「低温工学」

- ・37 巻 4 号～38 巻 3 号の 12 冊を発行する。

- ・下記のテーマの特集号等を予定している。

特集号 「磁気分離」

「バルク超電導材料の基礎と応用」


「WE-NET プロジェクト」

「ITER-TF インサート・コイルの実験結果」

「高温超電導のマイクロ波応用」

基礎講座「超伝導入門」

「超伝導材料入門」

「21世紀に伝えたい超電導応用技術」 

2) 研究発表会(学会)：年2回開催する。

- ・2002年度春季低温工学・超電導学会 (通算第66回)
2002年5月18～20日(工学院大学)
- ・2002年度秋季低温工学・超電導学会 (通算第67回)
2002年10月30～11月1日(長崎ブリックホール)

3) 材料研究会

- ・研究会を年4回(見学会2回を含む)開催する。
- ・講演論文集を1冊作成する。

4) 超電導応用研究会：

- ・研究会を年4回開催する。
- ・講演論文集を1冊発行する。

5) 調査研究会：下記のテーマで実施する。

- ・「超電導・低温工学教育応用調査研究会」(2000～2002年度)
- ・「新磁気科学調査研究会」(2001～2003年度)
- ・「熱音響自励振動研究会」(2001～2002年度)
- ・「超流動機器要素技術調査研究会」(2002～2004年度)

6) 第14回低温工学サマーセミナー：下記の通り開催する。

会期：2002年7月11,12日

場所：サンレイク土浦(土浦市)

7) 韓日応用超伝導・低温工学ワークショップ

会期：2002年11月15,16日

場所：ソウル市

・支部事業

1) 関西支部：

- ・講演会を年4回(見学会1回を含む)開催する。
- ・低温工学基礎技術講習会を開催する。
- ・研究会を設置する。
- ・関係学協会関西支部との協賛活動

2) 東北・北海道支部

- ・講演会を年2回(見学会1回を含む)開催する。
- ・研究会を年1回開催する。

- ・超伝導・低温若手セミナーを開催する。

3) 九州・西日本支部

- ・設立総会を開催する。
- ・研究会を年1回開催する。
- ・若手セミナーを年1回開催する。
- ・企業セミナーを年1回開催する。

・共催，協賛および後援のシンポジウム・講演会等

共催3件，協賛11件を予定。(2002年5月19日現在)